工夫を凝らし自分で作ったものを活用することで、学習意欲を育む

ネイパル深川

集まれ！わんぱくキッズ

1　事業のねらい

体験活動を通して、自分で作ったものを活用し、仲間と共に活動をする時間を楽しむことで、学習意欲や協調性を育む。

2　事業の概要

■期日 R７.２.15(土)～16(日)　１泊２日
■対象 小学生１年生～小学６年生
■人数 44 人
■場所 ネイパル深川

3　プログラム

日時	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
2/15（土）	★受付時間　13:00～13:30 ★開 会 式　13:30～14:00						受付	開会式	①手作りスキー	②レク	ベッドメイク	夕食	入浴	就寝準備	消灯	
2/16（日）	準備 起床	朝食	点検	準備	③スキー滑り	④アイス作り	閉会式	解散11:30予定								

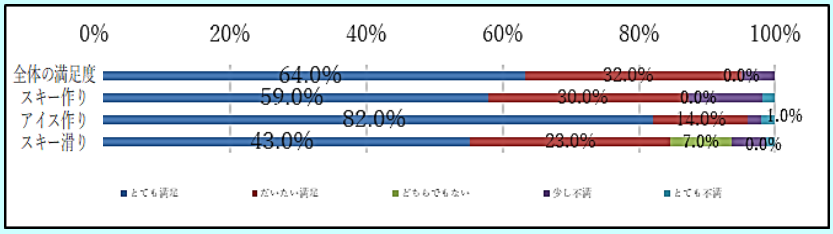
4　ねらいを達成するための活動の工夫

■自分で作ったものを活用するスキー創作・実践
・事業のねらいや、SDGs の目標の一つである「つくる責任・使う責任」を意識し、参加者が創作物を作りっぱなしで終わらないように、それを実際に活用できる時間をプログラムに取り入れた。
■仲間と協調性を育むアイスづくり
・仲間と共に活動して、協調性を育む機会とするために、アイス作りに使用するボールを班で１つだけ使うことで、班員全員が転がしてアイスを作り上げて、達成感を味わえるようにした。

自作のスキーを使った活動

アイスをみんなで作る活動

5　事業の評価



■参加者アンケートから
・スキーがすごく滑って満足した。作ったことがないスキーを作れた。転んだけど、楽しかった。
・みんなで協力できた。味が本格的にできてよかった。アイスができるのが不思議だった。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●スキー作り・実践では、スキーを活用する場面を作ったことで、参加者が作るだけでは得られなかった満足感を得ることができた。また、アイスづくりでは、アンケートからも見られるように、参加者が協力して、アイスを作り上げ、味を楽しめることができたため、参加者の満足度をとても高めることができた。
○スキー実践では、活用の場面は作れたが、スキーが脱げて、思うようにスキーを滑ることができないという意見が参加者からあった。活用方法のレクチャーを行い、参加者が活用方法を知った上で、実践を行うとさらに満足度を高めることができた。

企画のポイント

積雪した環境の中で、雪上を笑顔で駆け回る参加者の姿を想像してプログラムを作った。